

北部丘陵活性化計画アクションプラン進捗確認シート（2017年7月31日現在）

資料3

事業 番号	★事業名称	指標	2017年度実施計画	進捗状況	進捗状況の背景		今後の予定
					◎...計画以上に進んでいる ○...計画どおり × ...遅れている ― ...後半期に開始するもの		
1	新たな交流・回遊拠点の開設【重点事業】	開設された交流・回遊拠点の数	開設箇所の決定・開設に向けた検討	○	地域住民や活動団体等への個別ヒアリングの中で、拠点の開設箇所や運営の可否について確認しました。 ヒアリングの中で、山林の活用と併せて直売所も併設したいとの内容を聴取しました。 ヒアリングの中で、空店舗を利用したいとの内容を聴取しました。(北部丘陵整備課)		引き続き地域住民や活動団体への個別のヒアリングを実施し、聴取した内容を基に拠点の開設に向けた検討を進めます。 地域別のワークショップを実施して、拠点の適地について絞り込みを行います。 ヒアリングで聴取した、山林の活用と併せた直売所や空店舗の利用について、検討を進めます。(北部丘陵整備課)
2	里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築【重点事業】	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積	モデル地区の抽出	○	地域住民や活動団体等への個別ヒアリングの中でモデル地区の適地や想定される担い手について確認しました。(北部丘陵整備課)		引き続き、地域住民や活動団体等への個別ヒアリングの中でモデル地区の適地や想定される担い手について確認します。 地域別(小野路町・上小山田町・下小山田町)のワークショップを実施して、山林バンク等の適地について絞り込みを行い、モデル地区の抽出をします。(北部丘陵整備課)
3	「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の構築【重点事業】	「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	検討委員会の継続開催、小さなプラットフォームの形成	○	7月に庁内検討委員会を開催し、北部丘陵活性化計画アクションプランの事業推進主体になっている各課の事業進捗状況と今後の予定を確認しました。 小さなプラットフォーム(関係者同士が意見交換や交流を深める場)の形成に向けて、地域住民や活動団体等の担い手へ個別ヒアリングを実施しました。(北部丘陵整備課)		8月の検討委員会での意見を参考に事業を進めていきます。 下半期に庁内検討委員会と検討委員会を各1回開催します。 地元住民や地域の活動団体等が参加する地域別(小野路町・上小山田町・下小山田町)のワークショップを実施して、地域の理想像等について関係者同士による意見交換を行うことにより、小さなプラットフォームの形成を目指します。(北部丘陵整備課)
4	幹線道路等の計画・変更等【重点事業】	市道忠生579号線(Ⅰ期)及び市道忠生630号線(Ⅱ期)の整備完了	用地取得、整備完了	×	【市道忠生579号線(Ⅰ期)】 2016年度から事業協力を得ることが出来た地権者の所有地にて測量を実施していますが、測量業務が完了していません。そのため、用地取得は実施出来ない状況です。全地権者から事業に賛同いただけるよう繰り返し丁寧に説明を行いました。(道路整備課) 【市道忠生630号線(Ⅱ期)】 道路線形の確定に向け関係機関と調整し、第一期事業区間の終点側から多摩市方面へ向けて事業を進めています。また、関係機関との調整により、事業工程の見直しを行い、整備完了を2019年度から2021年度に変更しました。(道路整備課) 【(仮称)町田3・4・20号線(延伸)】 多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田駅までの延伸について、東京都、多摩都市モノレール株式会社、多摩市と、延伸計画における課題の確認など、事業化に向けた協議を開始しました。(交通事業推進課) 【町田3・4・40号線(町田3・4・20号線から町田3・4・20号線北側)】 多摩地域における都市計画道路の整備方針(第三次事業化計画)に基づき、現在、東京都で事業を進めております。(道路政策課)		【市道忠生579号線(Ⅰ期)】 事業協力を得ることが出来た地権者の所有地について、2016年度中に完了できなかった埋標等の測量業務を引き続き進めます。 引き続き、全地権者から事業に賛同いただけるよう繰り返し丁寧に説明を行います。 測量完了後、詳細設計及び用地取得を行います。(道路整備課) 【市道忠生630号線(Ⅱ期)】 用地取得に向け、測量を実施します。また、事業実施に必要な地質調査、設計も併せて行うと共に、関係機関との調整も進めていきます。(道路整備課) 【(仮称)町田3・4・20号線(延伸)】 延伸の早期事業化を目指し、引き続き関係機関との協議を行います。(交通事業推進課) 【町田3・4・40号線(町田3・4・20号線から町田3・4・20号線北側)】 早期完成に向けて東京都に働きかけを行っていきます。(道路政策課)
5	北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信【重点事業】	市主催イベントの申込率	70%	×	・7月までのイベント 【里山保全活動(良好な里山環境を守るため、農地や雑木林の再生・保全を現地を維持管理しているNPO法人の指導を受けながら年間を通じてボランティアで行う活動。)】 4月 小野路町奈良ばい谷戸 申込数4人／募集数20人 20% 【タケノコ掘り体験】 4月 小野路町奈良ばい谷戸 申込数76組／募集数15組 100% 【田植え体験】 6月 小野路町奈良ばい谷戸 申込数6組／募集数15組 40% 4月に開催したタケノコ掘り体験は募集の5倍を超える申込がありましたが、他のイベントの申込が少なかったため、市主催イベントの平均申込率は50%にとどまっています。 申込率の向上を図るために、7月に町田市庁舎1階イベントスタジオにて実施した北部丘陵の里山の魅力を伝える展示を活用して、秋以降に開催されるイベントを広く市民へ周知しました。(北部丘陵整備課)		地域住民や活動団体等へのヒアリングによって、新たな媒体について有効性の調査や利用方法の確認を行います。 新たな情報をHP等に掲載し、北部丘陵の魅力を周知していきます。(北部丘陵整備課) ・8月以降のイベント 【稲刈り体験】 10月 小野路町奈良ばい谷戸 【さつま芋掘り体験】 11月 小野路町奈良ばい谷戸 【木こり応援隊(樹林地及び農地環境の向上を目指し、下草刈と樹木の伐採を地域の農業者と公募市民の協働作業として実施し、地域の農業者が農閑期に行っていた雑木林の管理手法を伝承してもらうイベント。)】 2018年2月 小野路町 【植樹会】 2018年3月 上小山田町源流保水の森

事業 番号	★事業名称	指標	2017年度実施計画	進捗状況	進捗状況の背景	今後の予定
6	農地の改善や農道の整備	整備した農道の総延長 整備した農地の総面積	農道:3,300m (内、今年度 200m) 農地:約1.7ha (内、今年度 約0.4ha)	×	2017年度より東京都から補助を受け整備するため、5月に東京都の担当者と現地を確認しました。また、農閑期に整備が行えるよう、農道100m、農地0.22haについて関係権利者、東京都との協議及び工事発注に向けた調整をしました。(北部丘陵整備課)	引き続き関係権利者や東京都との協議及び工事発注に向けた準備を行い、農閑期に整備を行います。
7	農業研修事業	農業研修事業修了者数	76人(累計) (内、今年度 9人)	×	7期生は、今年度研修を終了する予定ですが、辞退者が出たため、7名になりました。4月1日付で8期生11名が入所し、7期生7名と合わせて、18名が研修中です。研修生は意欲的に研修に取り組み、夏野菜の生育も順調です。また、座学を行い、肥料や農薬の適性等についても習得しています。(農業振興課)	引き続き農業研修を実施します。2017年度7期生7名が修了予定です。修了者が農業に関わるための情報提供をしていきます。(農業振興課)
8	農地あっせん事業	あっせんを行った農地の面積	約14.2ha(累計) (内、今年度 約0.6ha)	○	4月に2人の担い手に合計約0.24haのあっせんを行い、約13.9haの農地を貸借しています。6月に2017年度第1回目の農地バンクの公開を担い手登録者に向けて行いました。(農業振興課)(農業委員会)	9月1日付で貸借を開始する、第1回農地バンク公開分のあっせん先を決定します。あっせんしている農地周辺を中心に農地利用状況調査(農地パトロール)を行います。そこで、肥培管理の悪い農地に対し、農地バンク登録を促していき、あっせんできる農地を増やしていく予定です。1月初めに第2回農地バンク公開を行います。(農業振興課)(農業委員会)
9	農業体験事業	市民農園、体験農園、収穫体験農園の合計数	農業者等への働きかけ	○	農業者へのヒアリングの中で、体験農園についての前向きな考えを伺うことができました。(北部丘陵整備課)	ヒアリングで伺った体験農園の実施に向けて、条件整備を行います。(北部丘陵整備課) 農業委員会だより等で農業者への働きかけを行っていきます。(農業振興課)
10	市民協働による里山環境の再生・保全	市民協働による里山環境の再生・保全を実施した事業数	新たな場所での取り組みの働きかけ	○	5月に小山田四季彩の森で植栽木周辺草刈とサツマイモ植え付けのイベントを実施し、小山田小関係者を中心として、60名以上の参加者、うち20名以上を子供が占め、終了後に実施したアンケートでも多くの方に満足していただけたという結果を得ました。(北部丘陵整備課)	地域住民や活動団体等の担い手へ個別ヒアリングを実施した中から希望者を募り、新たな場所での取り組みのきっかけとなるワークショップや意見交換会を実施します。(北部丘陵整備課)
11	生活道路の整備	都道155号線の事業決定	地元の合意形成に向けた支援、整備及び管理計画の策定	○	田中谷戸街づくり協議会へ道路整備の課題等について説明を行いました。田中谷戸街づくり協議会では、測量について大部分の合意形成を図ることができました。整備及び管理計画(案)について、関係機関と実施手順等の協議を行いました。(北部丘陵整備課)	地元の合意形成に向けて、田中谷戸街づくり協議会への説明を行っていきます。また、実施手順、工程等について東京都等の関係機関と協議を継続し、都道155号線整備及び管理計画の策定を目指します。(北部丘陵整備課)
12	新規バスルートの整備、増便	バス事業者が新たに自主運行を行った路線数	検証運行 (小山田桜台、唐木田間)	○	5月に警視庁実査を実施しました。7月に第1回地域公共交通会議(地域の特性や住民のニーズを踏まえた多様な形態の交通システム等を検討する場として、道路運送法に基づき設置された会議)を開催し、運行計画の内容について協議を実施しました。(交通事業推進課)	9月に第2回地域公共交通会議を開催し、運行計画の内容を確定します。11月頃から検証運行を開始します。(交通事業推進課)
13	市街化調整区域における土地利用方策の検討(地区計画制度等の活用)	市街化調整区域内における地区計画活用の考え方の決定	地区計画活用の考え方の検討	○	「町田市市の将来の都市構造とそれを踏まえた土地利用の方向検討調査」業務委託に係る委託業者を決定し、6月から北部丘陵区域内を含めた調査検討を開始しました。(都市政策課)	2017年度末までに同検討調査を通じて「市街化調整区域地区計画運用指針」の骨子案を取りまとめます。(都市政策課)
14	里山の景観を楽しむ散策コースの整備	新たに整備された散策コースの数	新規散策コースの検討	○	アクションプランの小山田地域の事業展開イメージ中に示されている鶴見川源流域の遊歩道について、7月に現地調査を行いました。(北部丘陵整備課)	北部丘陵域内の既存の地域資源やフットパスコースを整理、確認し、散策コースの整備箇所について検討を進めます。(北部丘陵整備課)
15	花のある道づくり	整備された箇所数	花のある道づくりの対象地の選定	○	地域住民へのヒアリングの中で、花のある道づくりの新たな対象地の提案をいただきました。(北部丘陵整備課)	地域住民、活動団体と現地確認等を行い、花のある道づくりの対象地選定を行います。また、地域住民等へのヒアリングを継続し、草花の維持管理を担う地域住民や団体等を探していきます。(北部丘陵整備課)